

□□□□2. □□□□□□□□□□

□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□**2018**

□□□□□□□□□□□□□□□□

2. □□□□□□□□□□



広島大学大学院医系科学研究科 皮膚科学 教授
秀 道広 先生

VIDEO

1. ガイドライン改定のポイントと蕁麻疹診療の課題

蕁麻疹診療ガイドライン2018のポイント

今回の改定の概要¹⁾

2011年版のガイドライン作成時以降に発表されたエビデンスを検証し、グローバルガイドライン（国際ガイドライン²⁾）との整合性を取るとともに、わが国の現状を踏まえ、また、医師、患者および医療関係者がどのように蕁麻疹を捉え、問題を解決するために行動すべきかを示すことを目指して作成された。

今回の改定の特徴³⁾

蕁麻疹診療に関する情報を実用性の観点からより系統的に整理し、より洗練した行動指針を明示した。

具体的な変更点³⁾

1. 主たる病型の分類の微修正
2. 治療アルゴリズムの改定
3. 蕁麻疹の病型毎の治療法のエビデンスと推奨度の整備
4. 19の基本的行動指針の提示
5. 「評価」の項の新設

1.

1.

□□□□

3. 推奨度とエビデンスレベル

蕁麻疹診療ガイドライン2018の推奨度とエビデンスレベル

推奨度	説明	推奨度とエビデンスレベル	臨床的意義
1: 強い推奨 (recommend)	推奨された治療によって得られる利益が大きく、かつ、治療によって生じる負担が軽微と認められる。	1A	根拠のレベルが高く、治療によって得られる利益は大きく、かつ、生じる害や負担が軽微と認められる。したがって、医師は、推奨した治療を行うことが勧められる。
2: 弱い推奨 (suggest)	推奨した治療によって得られる利益の大きさは不確実である、または、治療によって生じる害や負担が軽微と認められていると考えられる。		
エビデンスレベル	研究デザイン	説明	
A (強い)	- 複数のランダム化比較試験の結果が一致し、かつ、多数のランダム化比較試験の結果が一致している。 - ランダム化比較試験のメタアナリシス	結果はほぼ確実であり、今後研究が新しく行われても結果が大きく変化する可能性は少ない。	根拠のレベルは低い (B)、または、とても低い (C)。すなわち、治療によって得られる利益は大きく、かつ、生じる害や負担が軽微と認められる。したがって、医師は、推奨が十分でないことを理解したうえで、推奨した治療を行うことが勧められる。
B (弱い)	- ランダム化比較試験の結果が一致している、または、少数のランダム化比較試験の結果が一致している。 - ランダム化比較試験の結果が一致している、かつ、多数のランダム化比較試験の結果が一致している。 - 少数のランダム化比較試験の結果が一致している。	結果を支持する研究があるが十分ではないため、今後研究が行われた場合に結果が大きく変化する可能性がある。	
C (弱い)	少数のランダム化比較試験や観察研究、症例報告、専門家の意見	結果を支持する確度の低い研究がない。	推奨した治療によって得られる利益の大きさは不確実である、または、治療によって生じる害や負担が軽微と認められていると考えられる。根拠のレベルは、低い (A)、低い (B)、とても低い (C)。したがって、医師は、治療を選択して慎重に、患者と治療を行う（または行わない）が推奨することが勧められる。

〔掲載の診療ガイドラインのエビデンスレベルは本ガイドライン2018年版の標準に準拠〕

*1: ランダム化比較試験を含む

*2: ランダム化比較試験以外の研究結果、または、観察研究の結果を基に評価したものを示す

Copyright © 2018, 日本皮膚科学会. All rights reserved. 本ガイドラインは、日本皮膚科学会が著作権を保有する著作物です。

3. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

3. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇

□□□□

4. 典型分類の実施方法

蕁麻疹の主たる病型¹⁾

- I. 特発性の蕁麻疹 spontaneous urticaria
 - 1. 急性蕁麻疹 acute spontaneous urticaria (発症等6週間以内)
 - 2. 慢性蕁麻疹 chronic spontaneous urticaria (発症等6週間以上)
- II. 刺激誘発型の蕁麻疹 (特定刺激ないし食物により皮膚を誘発することができる蕁麻疹) inducible urticaria^{*}
 - 1. アレルギー性の蕁麻疹 allergic urticarial
 - 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー FDEIA
 - 3. 非アレルギー性の蕁麻疹 non-allergic urticaria
 - 4. アスピリン蕁麻疹 (不耐症による蕁麻疹) aspirin-induced urticaria (urticaria due to intolerance)
 - 5. 物理性蕁麻疹 physical urticaria (機械性蕁麻疹 mechanical urticaria, 寒冷蕁麻疹 cold urticaria, 日光蕁麻疹 solar urticaria, 温熱蕁麻疹 heat urticaria, 遅延性圧蕁麻疹 delayed pressure urticaria, 水蕁麻疹 aquagenic urticaria)
 - 6. アリン性蕁麻疹 cholinergic urticaria
 - 7. 接触蕁麻疹 contact urticaria
- III. 血管性浮腫 angioedema
 - 1. 特発性の血管性浮腫 idiopathic angioedema
 - 2. 刺激誘発型の血管性浮腫 inducible angioedema (振動血管性浮腫 vibratory angioedema を含む)
 - 3. ブラジキニン誘発性の血管性浮腫 bradykinin mediated angioedema
 - 4. 遺伝性血管性浮腫 hereditary angioedema (HAE)
- IV. 蕁麻疹関連疾患 urticaria associated diseases
 - 1. 蕁麻疹様血管炎 urticarial vasculitis
 - 2. 色素性蕁麻疹 urticaria pigmentosa
 - 3. Schatzker症候群およびワグネルリン病関連発熱性蕁麻疹群

* 蕁麻疹の分類に、本分類以上、慢性蕁麻疹は特発性蕁麻疹を含む慢性 urticaria と分類される

4. □□□□□□

4. □□□□□□

□□□□

□□□□

□□□□□□□□

□□□□□□

□□□□

□□□□□□□□

□□□□

PFS□□□□

00000000

00000000000000

000000

00000000000000000000

Image



Source URL: https://loadtest.pro.novartis.com/products/xolair/urticarial/guideline_03